

計画事業番号	00003	事務事業名	食育推進事業	担当部署	保健福祉部健康推進課	電話	1213
--------	-------	-------	--------	------	------------	----	------

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		根拠法令等	食育基本法			
事務事業開始年度	平成24年度		個別計画等	北広島市食育推進計画			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 1 章) 支えあい健やかに暮らせるまち						
	(第 1 節) 健康づくり・地域医療の充実						
	(施策 1) 健康づくりの推進						
2 対象	市民						
3 目的と内容	心身の健康増進と豊かな人間関係の形成のために、食に関する知識や食を選択する力を身につけ、健全な食生活を実践することを目的に、食育に関する講演会および食育推進計画の進行管理等を行う食育推進懇談会を開催する。 【前回の推進計画からの変更点】 H29年度～食育推進計画(第2次)の進行管理を実施						
4 実施内容(手段)	28年度まで	【継続】 ①食育講演会の開催 年1回 【拡大】 北広島市食育推進計画(第2次)を策定する(平成29年度～平成33年度までの5ヶ年計画)計画策定のために②食育推進庁内検討委員会・③食育推進懇談会開催を開催する(年5回程度)。					
	29年度	(1)食育講演会の開催 年1回 (2)第2次食育推進計画進行管理(平成29年度～平成33年度) ①食育推進庁内検討委員会 年1回開催 ②食育推進懇談会 年1回開催					

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
(1)食育講演会の開催 (2)食育推進計画(第2次)策定 ①食育推進庁内検討委員会 ②食育推進懇談会	(1)年1回 参加数21人 (2)①4回 ②4回 懇談会委員出席数 35人/40人	食育講演会の開催 食育推進懇談会の開催		食育講演会の開催 食育推進懇談会の開催		食育講演会の開催 食育推進懇談会の開催	

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度2次評価	現状継続	現状継続とする。		「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	生活習慣病と食生活は密接な関係にあり、市民が適切な食品の選択ができる能力を身につける「食育」を進めることは重要である。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			2,396		124		148		148	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	2,396		124		148		148	
	① 合計	2,396		124		148		148		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	1.00	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	8,400	0	840	0	840	0	840	0	
総事業費①+④			10,796		964		988		988	

【評価指標】

指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	① 食育講演会参加数	人	80	80	80	80
		実績値	21			
	② 食育推進懇談会の開催	回	5	1	1	1
		実績値	4			
成果指標	① 食育講演会のアンケート	%	100	100	100	100
	【参考になったと回答した割合】	実績値	90.5			
	② 【指標の定義(算式等)】	実績値				
	③ 【指標の定義(算式等)】	実績値				

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	食事内容の乱れや孤食、食品の安全性など「食」を取り巻く健康問題や不安が社会的な課題となっている。食に関する正しい知識を提供し、実践する機会の提供は行政の役割である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	食育講演会のアンケート結果により、参加者は食について関心を高めている。また関係する各種事業において、すべてのライフステージで食に関する啓発を行っている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	3	食育に関する正しい知識の普及・啓発を図ることにより、市民全体の健康意識の高まりや地産地消等の取り組みを行っている。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	2	食育の普及啓発は関係機関等との連携を深めることでより一層効果的・効率的に行える。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--